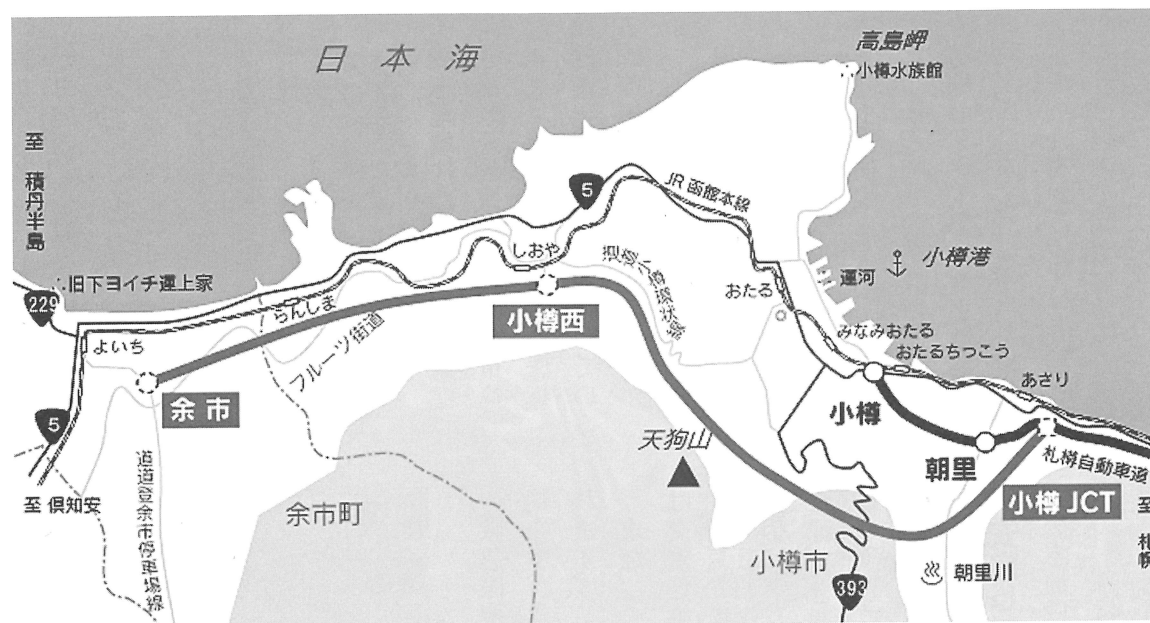


平成30年秋に開通予定 北海道横断自動車道 「小樽ジャンクションのフル化」

～要望活動が実を結び正式決定～



小樽ジャンクション～余市インターチェンジ間路線図

数キロメートル手前の「小樽西インターチェンジ」(塩谷)か、中心部を通過した「銭函インターチェンジ」で降りるしかなく、これでは救急搬送や農産物等の輸送、広域観光化等、高速道路の機能が十分に活かされなため、小樽・後志地域挙げて「小樽ジャンクション」のフル化に向けて要望活動を続けてきました。

今般、長年の要望が実を結び、平成29年3月31日に国土交通大臣から事業が認可され、「小樽ジャンクション」のフル化が正式に決定しました。

繋がり強化で広域観光が推進

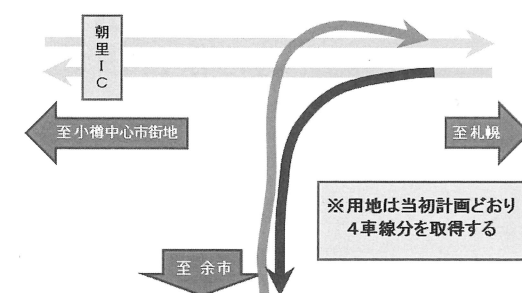
後志は、小樽をはじめニセコ積丹小樽海岸国定公園、ニセコリゾートなど多くの観光資源があり、年間約2,300万人の観光客が訪れ、宿泊客は約352万人と年々増加しています。このうち、外国人宿泊客は88万人で、特に冬季の倶知安、ニセコ地区は、スキーリゾートで滞在するオーストラリアや香港など、外国人観光客の来訪が多くなっており、近年は小樽

北海道横断自動車道は、北海道の中央と道東を東西につなぐ高速道路で、黒松内町を起点に、小樽市から札幌市、帯広市、釧路市を経て根室市にいたる路線と、本別町で分岐する2路線からなります。

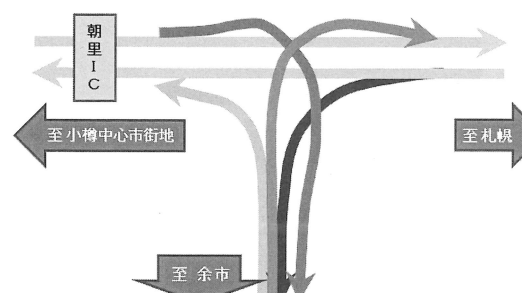
黒松内町と小樽市を結ぶ区間は、国土開発幹線自動車道建設法に基づき、高規格幹線道路の一つ(いわゆる国幹道)「北海道横断自動車道黒松内釧路線」(総延長412km)の一部です。

昭和46年の札幌オリンピックにあわせ開通した札幌自動車道の延伸として、黒松内～小樽間のうちの「余市～小樽間」は、平成11年12月、

既存計画 小樽JCTのハーフジャンクション



今回認可された計画 小樽JCTのフルジャンクション



整備計画が決定し、平成18年、東日本高速道路株式が事業着手、平成30年の秋頃に完成する予定です。

要望活動が実った！小樽JCTのフルジャンクション化

北海道横断自動車道黒松内までの延伸に、大きな期待を寄せていたなか、朝里インターチェンジ付近に整備される「小樽ジャンクション」は余市方面からの乗り降りができないハーフジャンクションに途中から計画が変更され整備が進んでいました。

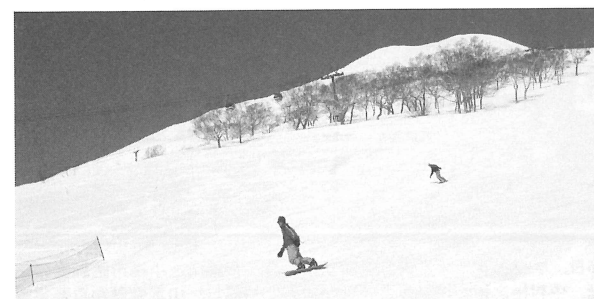
このままでは、倶知安方面から小樽市街地に入るには、中心部か



余市ニッカウヰスキー



小樽運河



ニセコのスキー場



神威岬